

2020年4月27日

## 学会発表での「賞の対象」について

群馬大学 小林春夫

研究室で国際学会・国内学会で発表すると受賞することがある。  
その「賞の対象は論文に対してなのか発表者なのか」ということに対し、ずいぶん以前になるが東京都市大学名誉教授 堀田正生先生にご教示いただいたことがある。

Best Paper Award (最優秀論文賞)は **賞の対象が論文**なので、  
共著者全員が受賞者と考えてよい(ことが多い)。

Best Presentation Award (最優秀発表賞)は、**賞の対象はその発表者**である。

Best Student Paper Award (最優秀学生論文賞)は微妙である。

賞の対象が筆頭著者として発表した学生の場合もあるし、  
学生論文が対象で共著者全員も含まれる場合もあるかと思う。  
賞状に共著者全員が書かれていたら論文が対象で、  
発表学生が主役、共著者は脇役の受賞者くらいかもしれない。

これらは厳密さが必要な場合は学会主催者に確認するのがよい。



学生論文で共著者全員が賞状に



小林研究室 APCCAS2008 (中国澳門市)

一方、賞を出す側に回ることもある。

<https://kobaweb.ei.st.gunma-u.ac.jp/tjcas2019/award.html>

その際は「その賞の対象は論文に対してなのか発表者に対してなのか」ということを明確に意識したほうがよいと思っている。